

建築鉄骨構造技術支援協会「鉄骨技術フォーラム2019」

—鉄骨造建築物の構造設計・部材製作等における疑問に答える—

開催の趣旨

今回のフォーラムでは、昨年に引き続き、角形鋼管柱を用いた中小規模鉄骨造建築物を主な対象として、鋼材、構造設計、鉄骨製作、現場施工等における会員各位の日頃から抱える疑問点に当協会の関係者が回答し、更にそれらについて意見交換を行うことを考えております。

フォーラムの詳細は以下の通りです。鉄骨構造物に関心をお持ちの多くの方々の参加を希望しております。

(一社) 建築鉄骨構造技術支援協会 理事長 稲田達夫

日 時 2019年10月11日(金) 13:30~17:00

場 所 東京電機大学 千住校舎5号館(東京都足立区千住旭町5番、北千住駅東口から徒歩1分)

参加費 会員6,000円、非会員8,000円(予定)※全青会会員は当協会会員として扱います

定 員 100名

プログラム

1. 理事長挨拶

2. 鉄骨造建築物の設計・部材製作等における疑問に答える。

回答者 伊藤優、稲田達夫、岡部純、護雅典、増田浩志、横山幸夫

質問の例を以下に示します。今後とも、9月15日まで質問を受け付けます。下記連絡先にお寄せ下さい。

- | | |
|--|------------------------------|
| (1) 小梁・間柱等の鋼材規格について | (8) 高力ボルトの一次締めトルク値について |
| (2) 内ダイアフラムと柱板厚の板厚差について | (9) ターンバッカルプレス GPL の溶接方法について |
| (3) メッキ・防錆塗装の高力ボルト接合について | (10) 合成スラブデッキプレートの溶接について |
| (4) 通しダイヤ形式、内ダイヤ形式、ハンチ形式それぞれへの変更について | (11) ハイテンションボルトの使用期限について |
| (5) 間柱ピン柱脚のベースプレート溶接について | (12) スプライスプレートの標準化について |
| (6) 高力ボルト摩擦接合面の粗さについて | (13) ピン接合の小梁の孔明けの位置 |
| (7) 溶融亜鉛メッキ工法、開先面から不メッキ処理範囲の合否判定基準について | (14) 鉄骨とコンクリートの密着性について |

鉄骨技術フォーラム2019 参加申込書		FAX 045-441-1196	※お一人ずつお申し込み下さい。	2019年	月	日
ふりがな		ふりがな		会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/>		
氏名		会社名				
会社住所			電話			
			FAX			

本申込書をFAXのうえ、下記口座に参加費をお振り込みください。

みずほ銀行 横浜駅前支店 普通預金 口座番号 2427243

口座名：一般社団法人 建築鉄骨構造技術支援協会 シヤ)ケンチクテツコソコウゾウギジュツシエンキヨウカイ

連絡先 建築鉄骨構造技術支援協会事務局

東京都中央区日本橋茅場町2-2-2三恵ビル5F Tel 03-5843-6489 e-mail : info@sasst.jp